

政策評価調書(4年度実績)

政策名	移住・定住の促進	政策コード	I-9	関係部局名	企画振興部、商工観光労働部、農林水産部
-----	----------	-------	-----	-------	---------------------

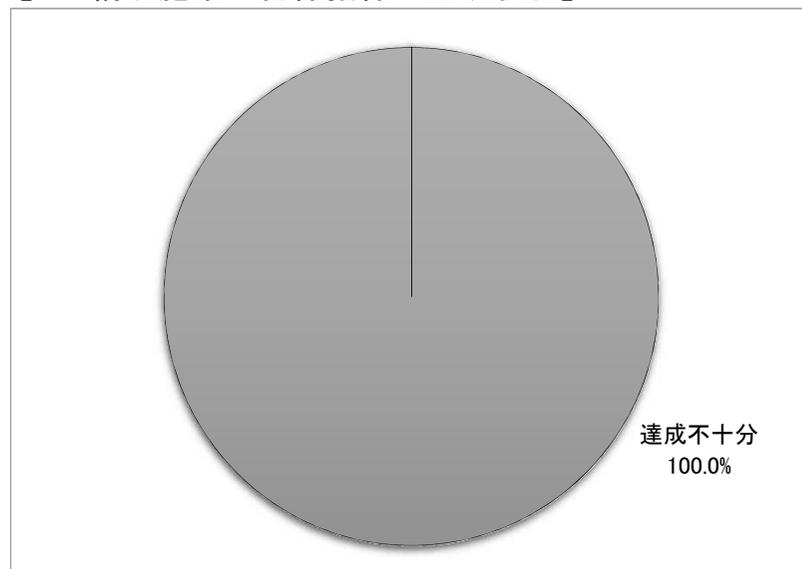
【Ⅰ. 政策の概要】

UIJターンを促進するため、地域の居住環境や魅力の情報発信を強化するとともに、移住の受け皿となる仕事づくりや移住後の定着に向けた移住者へのフォローアップ、大学生等若者の県内定着やUターンの促進に取り組む。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名	指標評価	総合評価
1 移住・定住のための環境整備とUIJターンの促進	達成不十分	B

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



達成	概ね達成	達成不十分	著しく不十分	指標合計
0	0	1	0	1

【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

コロナ禍での地方回帰の流れを追い風とし、IT・福祉・医療分野におけるスキル習得から移住・就職までのワンストップ支援などにより、R4年度の移住支援策による移住者数は過去最高の1,917人となった。
引き続き、県外からの移住を促進するため、移住希望者の仕事や住まいの確保に対する支援が必要である。また、本県からの転出超過が著しい若年女性の転入促進は喫緊の課題であり、大分で働く・暮らす魅力を伝えるため、SNS広告による情報発信等に取り組む必要がある。
さらに、若年層の移住を後押ししていくためには、魅力的な仕事づくりが求められている。オフィス系企業やサテライトオフィスの誘致に加え、就農や起業、事業承継など幅広い仕事の選択肢を提示しながら、専門機関による伴走支援を行うなど、きめ細かなサポートを行う事も必要である。
一方で、企業の働き方が変わりテレワークも進む中、都市圏の企業に在籍しながら地方に住むライフスタイル、いわゆる「転職なき移住」も浸透してきている。企業との接点を創出し、ビジネス展開に繋がる連携を働きかけながら、多彩なスキルや知見を有する企業人材を大分に呼び込んでいくことも重要である。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—